

# 愛媛医療福祉専門学校

## 2010 第3回オープンキャンパス

(平成22年5月8日(土) 11:00~15:00)

### 1. 学校の説明 (11:00~12:00)



### 2. 柔道整復師科の体験実習 (13:00~13:40)

○テーマ; 『絆創膏固定法について』

○指導担当; 柏木先生

今日は、足関節の絆創膏による固定法をやってみましょう。

アキレス腱は、思っている以上に簡単に切れてしまいます。バスのステップを一段昇っただけでブチッと音がして切れた例もあります。



以前は、手術をして、ギプスで足を固定していましたが、今では、このテーピングという方法で固定して、自然治癒力による回復を待つという方法も多くとられています。

それでは、実際にやってみましょう。

アキレス腱は、蹴り上げた足の腱が引っ張られて切れてしまいます。そこで、腱が引っ張られないように、足を上げて固定します。

まず、このように足の腱が伸びないように縦に貼るテープの土台を作ります。

この土台の上に、足首を固定するため縦にテープを貼ります。





これも、1本では弱いので、補強のために何枚かのテープを貼り合わせて強いテープを作ります。

そして、そのテープを先ほどの縦のテープの上に、重ねて貼ります。



次に、縦のテープと足との間に隙間ができますので、テープを一周させて縦のテープを抑えていきます。

さて、どうでしょう。  
立って歩いて見て下さい。



今の状態では、アキレス腱が伸びないために、踵が浮いて歩きにくそうですね。

最後に巻いた縦のテープを抑えるテープをはずすと、歩きやすくなりますね。

このように、テープを緊張させる方向や強度を調節することで、日常の生活に合わせた固定を行っていくのです。





固定法には、テーピングだけでなく金属や木材など色々な素材で固定する方法もあります。

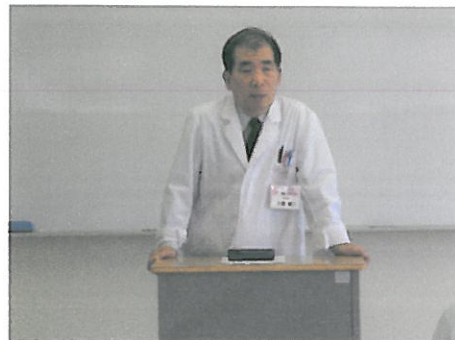
この固定法は、犬猫病院や馬などにも応用されています。また、産婦人科やO脚やX脚の矯正にも使用されています。

### 3. 鍼灸師科の体験実習 (13:40~14:30)

○テーマ①；『鍼灸師のニーズについて』

○指導担当；田邊健三先生

鍼灸師を目指す人は、大阪でも女性が多くクラス30名の中でも、男性が10名、女性20名と言うような状況です。特に今は美容鍼灸に人気があり、そのため鍼灸師を目指す女性も多くなっているのではないかと思います。美容鍼灸とは、美だけではなく、健康作りも含まれていると思います。その意味では、病院や接骨院だけではなく、老人施設への就職や参入の可能性も大いにあると思います。理学療法士や作業療法士も素晴らしい仕事ですが、彼らには開業権はなく、どうしても医師のもとでの指導と言うことになってしまいます。最近では、鍼灸も医師の同意による保険施術ができるようになり、代替医療の意味合いも大きくなってきています。



整形外科的な治療のできる柔道整復師、内科的な医療が加わる鍼灸師、両方の資格を取っていれば、今後とても有利になると思います。

○テーマ②；『温灸を体験してみよう！』

それでは、今日、折角来て頂いたのですからここで少し体験をして頂きましょう。温灸というものを実際にやってみますので後で、それぞれお互いにやってみてください。気持ちいいですよ。

まず、この100円ショップで買った、木箱と茶濃しを使って作った箱灸の道具を使います。

これを患部に乗せて、茶濾しにキャップ大の艾を入れて火をつけます。これをしばらく置くと熱が伝わり始めます。熱くなったら、場所を移動してあげてください。



それでは、交替でやってみましょう。  
どうでしょうか？  
気持ち良くて癖になりますよ。

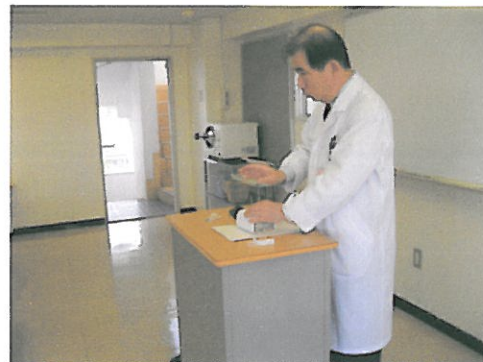


箱を作るのは簡単ですから、是非家庭でもやってみてください。

### ○テーマ③；『鍼を触ってみよう！』



今度は、実際に鍼を触ってみましょう。  
みなさんの手元に配りましたが、このように  
鍼は細いものです。



これを、右手の人差指と親指で  
挟むようにして持ち、左手で輪  
を作った間に割り込ませ、右手  
人差指で鍼管から出ている鍼の  
頭を叩いて、人の皮膚に刺入します。



みなさんも、その鍼枕に試しに刺入  
してみてください。

どうでしょう。うまくいきましたか？

鍼管がなければ、刺入するときに痛いのですが、300年ほど前に杉山和一という人が夢枕に出てきた鍼の神様に教えを頂き、鍼管というものを考え出しました。それから、日本では鍼管を使用するようになり、痛くない鍼ができるようになったのです。

時間が来ましたので、鍼灸師科の体験授業は終わります。

#### 4. 柔道整復師科の体験実習（14：30～15：00）

○テ ー マ；『テーピングをやってみよう！』

○指導担当；柏木先生

少し時間がありますので、先ほど見本を示したアキレス腱へのテーピングをやってみましょう。



テープを切るのも意外と難しいものでしょう。

テーピングの方法には様々ありますが、基本的に損傷した部位が緊張しないような引っ張りをテープによって与えてやる、つまり、伸びないようにテープでストップをかける方向にテーピングしていくことが基本となります。

膝や肘の屈曲、伸展、内旋、外旋、手指の橈屈、尺屈、背屈、掌屈などと様々な動作の制限が必要になります。それらの症状に合わせたテーピングを施していかなければなりません。

是非また一緒に勉強しましょう。

今日は、時間が来てしまいました。

また、興味があれば来て下さい。

今日は、ありがとうございました。

以上